

スマイルボックス

前野克己君：誕生日のお祝いありがとうございます。
白鳥 篤君・山口和也君：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
大野数芳君・山口和也君入会記念日です。
山本倫弘君：栗原市長よろしくお願ひします。
伊東哲夫君：栗原市長卓話よろしくお願ひします。

理事会報告

5/11臨時理事会

1. 国際大会の代議員について 承認

新会員紹介

名 前 まきむら ひさお 牧村 久夫君
生年月日 1956年2月24日
職業分類 警備保障
事業所 総合警備保障(株)沼津支社
役職名 支社長
家 族 妻・子供(男3人)
趣 味 ジョギング 水泳 ゴルフ(多少)
その他 3月30日に沼津市に転入届けを出し、沼津市民となりました。



伝統ある沼津北ロータリークラブに入会させて頂き、誠にありがとうございます。先輩方のご指導を賜りながら、皆様のようなロータリアンになれるよう努力していく所存ですので、よろしくお願ひいたします。

卓話

「これからの沼津」

沼津市長 栗原裕康様



本日のテーマである「これからの沼津」について、いくつか絞ってお話しさせていただきます。

まず最初に、鉄道高架についてです。鉄道高架を行うためには、皆様もご存知のとおり、車両基地と貨物基地を郊外に移転させなければなりません。また鉄道高架には、南北の交通を良くするだけでなく、レールを撤去することで完全な更地となる駅近辺の場所に、東部の中心都市に相応しい様々な都市機能を揃えるという狙いもありますので、やはりこの移転は不可欠です。現在、県とJR貨物が交渉中です。結果がどうなるか暫く様子見となりますが、私はこの事業については進めていきたいと思っています。

二つ目ですが、私は就任以来、「沼津市民の皆様が沼津の良さを発見し、それを磨いていきましょう」と申し上げております。先月まで「沼津の宝」を市民の皆様から募集しておりましたが、景観・歴史・産業・人・食物など、359の宝が集まりました。今後 数を増やし、「沼津の宝100選」を作って、市民の皆様が踏破して頂くというプロジェクトを立ち上げようと思っています。更に、そうした「沼津の宝」を全国発信するために、テレビや映画のロケを沼津に誘致しようと考えており、ロケが来やすくなるような細かい策も講じています。その成果は早速表れており、「アド街ック天国」「レディス4」などのテレビ番組で沼津取材して頂きました。

三つ目は産業についてです。先日、商工会議所から「医



療産業を沼津にどんどん誘致したらどうか」とのご提言を頂きました。日本が世界と伍していくための次なるリーディング産業は、環境対策の技術と先端医療だと思います。先端医療については、県立静岡がんセンターの陽子線治療や、新型インフルエンザの検査キットを開発している沼津の会社など、県東部に素晴らしいものがたくさんあります。更に、県はファルマバレープロジェクトで「健康産業都市」を謳っています。そういったことも含め、このご提言は、沼津はもちろん、県東部を先端医療の基地にしようという発想なんですね。そのためにも医科系大学を沼津に置くべきだと思っています。そしてその周りには先端医療が集積する。更に申しますと、重粒子線と陽子線がここに揃えば、癌では間違いなく世界のトップレベルになりますので、大勢の患者さんがご家族と共にこの地を訪れ、治療をしてお帰りになる。ということ踏まえると、アフターコンベンションではありませんが、「アフター医療」をやらなければなりません。その場合のロケーションとして、富士山・伊豆・箱根がある。こんなに良い所は他にないでしょうし、県東部の強みが生かれます。これは、とても沼津市だけで出来ることではなく、国や県、近隣の市町と一緒に進めていかなければなりません。

最後に、私のもう一つの大きな目標は、近隣市町の合併です。私は三島と沼津がしっかり手を握れば、必ず周りについてくると思っています。いきなり合併とはいきませんが、「お互い、まずは広域都市を勉強しましょう」と近隣市町に呼び掛けております。もう沼津単独で町づくりを考えていく時代ではありません。先ほど申し上げました先端医療都市についても、沼津だけでなく東部全体で考えていく視点が必要ですし、そういう意識を市民の皆様を持つ頂くことが重要だと考えております。

(卓話要約)